

スイスチーズモデル (ヒューマンエラーと組織事故のモデル)

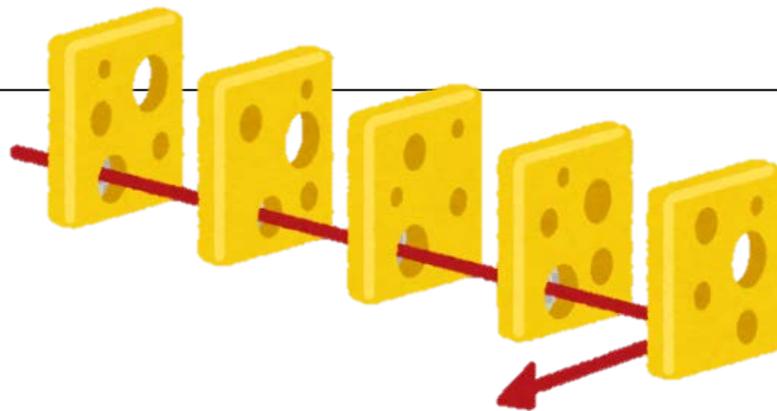


1) スイスチーズモデルとは

ハインリッヒの法則と同じ安全管理において頻繁に引用されているモデル

リスク管理に関する概念の一つ

スイスチーズの内部に多数の穴が空いているが、穴の空き方が異なる薄切りにしたスイスチーズを何枚も重ねると、貫通する可能性は低くなる

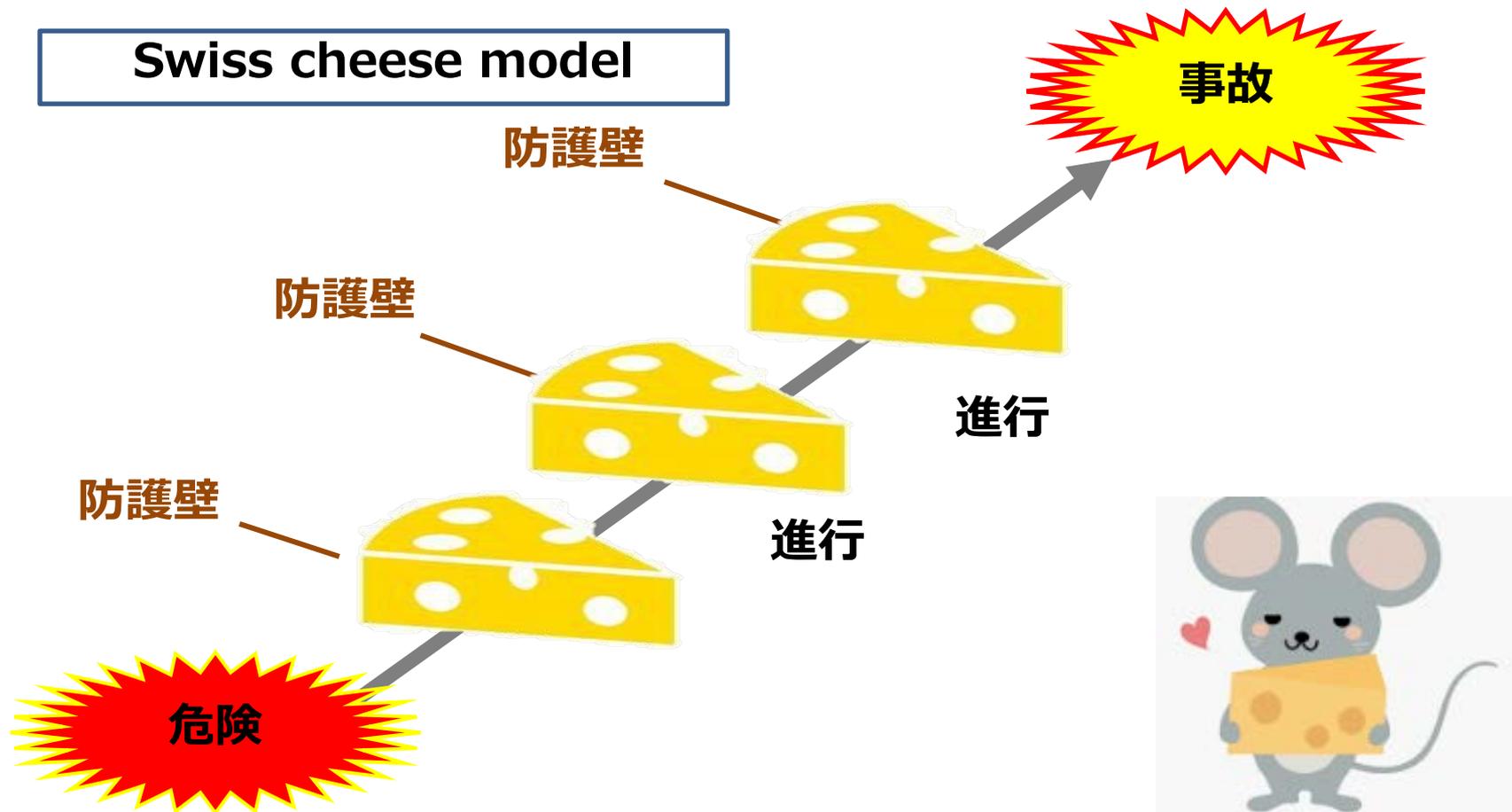


リスク管理・・・視点の異なる防護策を何重にも組み合わせ、事故や不祥事が発生する危険性を低減させることができる

完璧な防護壁は存在しないと認識した上で、個々の防護壁が正しく機能するように監視することが重要

スイスチーズモデル

事故は単独で発生するのではなく複数の事象が連鎖して発生するとしたもの

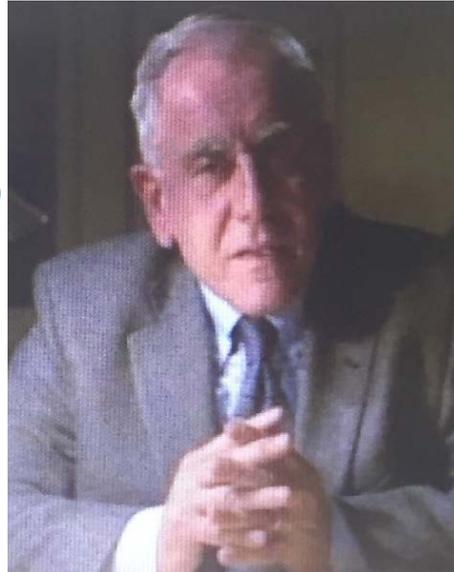


事故が想定される場合には、いくつかの防護壁を設けている

事故とは・・・

様々な防護壁の穴をすり抜けて、結果的に発生する事象そのもの

チーズの穴
(スイスチーズ)



ジェームズ・リーズン

事故とは必ずしも個人によるヒューマンエラーだけでない
複数の人々や組織的な要因によって発生することが多い

2) スイスチーズモデルとヒューマンエラー

Prompt & Potential
即発的エラーと潜在的エラー

Swiss cheese model

